



ART AQUARIUM

PRESS RELEASE

2025年5月12日
アートアクアリウム展 名古屋2025実行委員会

アートアクアリウム展 名古屋2025 特設サイト公開！

名古屋栄・中日ホールにて7月18日（金）～9月15日（月）期間限定開催

アートアクアリウム展 名古屋2025実行委員会（株式会社Kiranah Resort・東海テレビ放送株式会社）は、名古屋の中心地・栄に位置する中日ホール&カンファレンスにおいて、「アートアクアリウム展 名古屋2025」を2025年7月18日～9月15日の期間限定で開催します。
名古屋開催は、2018年以来7年ぶりの開催となります。

開催概要の情報公開と合わせて、本展の特設サイトを公開いたしました。詳細については本サイトより発表してまいります。

アートアクアリウム展 名古屋2025 特設サイト：http://artaquarium.jp/exhibition_nagoya/

■アートアクアリウム展 名古屋2025 開催概要

名称：アートアクアリウム展 名古屋2025

会期：2025年7月18日（金）～2025年9月15日（月）

営業時間：10時～18時（最終入場受付：17時）

場所：愛知県名古屋市中区栄四丁目1番1号 中日ビル 6階 中日ホール

料金：〈一般〉WEBチケット 2,100円 / 当日券 2,300円

〈中学・高校生〉WEBチケット/当日券 とともに 1,800円

〈小学生以下〉大人1名（一般入場券1枚）につき、小学生以下のお子様2名まで入場無料

チケット：アートアクアリウム展名古屋特設サイトよりWEBチケット（日時指定）を販売いたします。

販売開始までお待ちください（販売開始予定：6月1日）

アートアクアリウム展名古屋特設サイト：http://artaquarium.jp/exhibition_nagoya/

※詳細は随時発表してまいります。

【アートアクアリウムとは】

金魚泳ぐ水槽作品を光・香・音で演出する没入型エンターテインメントアート

日本の伝統と最先端のアートが融合する唯一無二の世界が広がる“アートアクアリウム”では、江戸時代から続く金魚鑑賞という文化を、芸術作品として現代に表現します。水槽作品の造形美、空間演出、そしてさまざまな美しさをもつ金魚たちがつくりだす幻想空間が広がります。



2007年に東京で誕生以来、全国各地において期間限定イベントとして開催、夏の期間は東京での開催が定着して親しまれてきました。

2020年8月には、初の常設美術館を東京・日本橋（東京都中央区）に開業、その後、2022年5月に東京・銀座（東京都中央区・銀座三越新館8階）に移転し現在営業中。2007年以来、累計集客実績1,230万人（2025年2月現在）を誇るエンターテインメント型美術館IPです。

【中日ビル】

今回、「アートアクアリウム展 名古屋2025」の開催する場所は、愛知県名古屋市中区栄に所在する「中日ビル」。63の飲食・物販テナント、ホテル、オフィスなどの施設を有する最新鋭の33階建て複合ビルで、名古屋・栄の新たなランドマークとして親しまれています。

中日ビル6階 中日ホール&カンファレンスは、かつて中日劇場があった場所に新たに誕生した多目的ホールで、様々なエンターテインメント創出の拠点として利用されています。



開催概要

施設名称	アートアクアリウム展 名古屋2025（英語表記：ART AQUARIUM in NAGOYA 2025）
入場料	WEBチケット 2,100円 当日券 2,300円（当日券は中日ビル 6階にて発売）※当日券は10時より発売開始
所在地	中日ビル 6階 中日ホール（愛知県名古屋市中区栄四丁目 1 番 1 号）
アクセス	地下鉄東山線・名城線「栄」駅 / 名鉄瀬戸線「栄町」駅から地下街で直結（13番出口横）
営業時間	10：00～18：00（変更になる場合がございます）最終入場受付 17：00
休館日	会期中は休まず営業します ※臨時メンテナンスで営業時間等変更の場合は名古屋特設サイトでお知らせいたします
特設サイト	http://artaquarium.jp/exhibition_nagoya/
公式SNS	Instagram https://www.instagram.com/artaquarium_official/ TikTok https://www.tiktok.com/@artaquarium_tm_official Facebook https://www.facebook.com/artaquarium1/ X https://x.com/artaquarium
主催	アートアクアリウム展 名古屋2025実行委員会 （株式会社Kiranah Resort・東海テレビ放送株式会社）
企画・制作	株式会社Amuseum Parks
運営	株式会社Amuseum Parks
協力	中部日本ビルディング株式会社